

あのことろ あの子

地中豆

「水溜まりにジャンプして飛び込む子ども心を取り戻したなら、虹の麓をまた探しに行こう。妖精の粉が雨で流される前に」

にじのふもとはあつちかな
こんぺいとうでできている

あじさいの花の向こうがわ

花の上にはでんでんむし

つのをびくびく動かして

きみもふもとを探してるんだね

ずんずん進むと水たまり

とびこえようとじゃんぷした

水がばしゃんとはねていく

はねた水はほうせきだ

校庭の砂のかけらとふたご

空にはさんさん太陽が

わたしをにじへあんないするの

月はわたしをおいかけるけど

太陽もわたしをおいかけるの？

空にはもくもくわたあめも
ふわふわ ふうわり うかんでの
きつと空のかみさまが
わたあめ作つてとぼしてるんだ
どんどん どんどん ふえてつて
空はくらくらなつていく

暗雲立ち込む梅雨

雨粒が鋭く私を貫く

水で重くなった衣服

体は勝手に冷えていく

ネバーランドは消え去り

雨は世界を灰色に変えた

あのことろのあの子はいつてしまつて

大人はただ立ち竦む